

令和3年度（2021年度）事業報告 （2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年度は、引続き新型コロナウイルス感染症に対するまん延防止特別措置が発令されるなど、感染者数が増減を繰り返す情勢に予断を許さない状況が続きました。

そんな中でも、スポーツで元気を取り戻すべく無観客となりましたが、ヨネックスレディーストーナメントゴルフ大会を開催し、延期されていた夏季東京、そして冬季北京でのオリンピック・パラリンピック大会では、アスリートの活躍で盛り上がり多くも勇気と感動をもたらせてくれました。

当財団は、新潟県インドアスポーツを応援する助成事業として56事業に2,250万円の助成を行いました。コロナウイルス影響で事業の縮小や中止が散見されました。

表彰事業については、1件表彰しました。

次年度は、増収となった保有株式配当金収入を含め収支相償の観点に立ち、インドアスポーツ振興の寄与する事業に助成すると共に、スポーツ活動で顕著な成績を収めた指導者及び団体に対する表彰を行い、新潟県のインドアスポーツ振興になお一層寄与すべく財団運営を進めて参ります。

また、新潟県内の多くのスポーツの振興・発展に寄与していけるよう、当財団の改革に取り組んで参ります。

以下事業別にご報告申し上げます。収支決算書は別紙をご参照ください。

1. 助成に関する事業

63事業より交付申請があり、選考委員会審査結果を経て理事長決裁により56事業に2,250万円の助成を行いました。

（うち2021年度事業返金17件、465万円）

助成事業の詳細は下記のとおりです。

	申請団体	事業の名称	交付金額	返金金額
1	阿賀野市バドミントン協会	阿賀野市ジュニアバドミントン選手強化事業 ※中止	¥300,000	¥300,000
2	新発田市卓球連盟	新発田市ジュニア強化指定選手強化育成事業	¥200,000	
3	特定非営利法人 新潟バドミントン・プロモーション	一貫指導体制によるジュニア選手育成事業	¥500,000	
4	長岡市テニス協会	令和3年度 ゼネラルコーチ配置による選手強化事業	¥540,000	
5	長岡市テニス協会	令和3年度 長岡市ジュニア選手普及・育成事業	¥350,000	
6	長岡市テニス協会	2021年 年末県外合宿 ※中止	¥700,000	¥700,000

	申請団体	事業の名称	交付金額	返金金額
7	新潟県アイスホッケー連盟	令和3年度トップレベルコーチによる県代表候補選手強化事業	¥100,000	
8	新潟県アイスホッケー連盟	令和3年度ジュニア選手強化のための合同練習事業	¥110,000	
9	新潟県ウエイトリフティング協会	新潟県ウエイトリフティング協会 高校生春季強化合宿 ※中止	¥200,000	¥200,000
10	新潟県小学生バドミントン連盟	2021年度新潟県小学生バドミントン1・2・3年生選手強化事業	¥800,000	
11	新潟県小学生バドミントン連盟	2021年度新潟県小学生バドミントン選手強化事業	¥1,000,000	
12	新潟県小学生バドミントン連盟	ジュニアバドミントン普及事業	¥800,000	
13	新潟県小学生バドミントン連盟	戦力アップジュニアバドミントン選手強化プロジェクト	¥900,000	
14	新潟県ソフトテニス連盟	一貫指導体制とジュニア育成事業	¥500,000	
15	新潟県ソフトテニス連盟	北信越国民体育大会（ソフトテニス競技）合同強化合宿	¥600,000	
16	新潟県ソフトテニス連盟	力を出し切って！！チャレンジ新潟ジュニア！ ※中止	¥200,000	¥200,000
17	新潟県ソフトテニス連盟	インターハイ女子優勝に向けた事前合宿	¥500,000	
18	新潟県ソフトテニス連盟	中高生の全国にはばたく選手育成事業 ※一部中止	¥500,000	¥36,879
19	新潟県ソフトテニス連盟	中学生合宿練習会および実施指導 ※中止	¥350,000	¥350,000
20	新潟県ソフトテニス連盟	全国トップによる小、中、高校生の技術指導および大会観戦 ※中止	¥270,000	¥270,000
21	新潟県ソフトテニス連盟	新年度に向けての高校生の強化合宿 ※中止	¥500,000	¥500,000
22	新潟県ソフトテニス連盟	第10回ヨネックスカップ・第48回北信越選抜インドア選手権大会におけるトップ選手によるジュニア技術指導	¥1,000,000	
23	新潟県ソフトテニス連盟	冬季における地域活性化を目指したジュニア育成講習会	¥400,000	
24	新潟県ソフトテニス連盟	技術力向上を目指したトレーニング講習会	¥400,000	
25	新潟県ソフトテニス連盟	子供スポーツチャレンジ ソフトテニス（中学生）YONEX 講習会 ※中止	¥150,000	¥150,000
26	新潟県テニス協会	令和3年度 第22回 YONEX 杯新潟県高等学校テニスフェスティバル ※一部中止	¥400,000	¥236,903
27	新潟県テニス協会	TENNIS PLAY & STAY 事業	¥1,000,000	
28	新潟県テニス協会	トレセン委員会・全国大会直前ジュニア強化と視察プロジェクト（8回、17日）	¥240,000	

	申請団体	事業の名称	交付金額	返金金額
29	新潟県テニス協会	トレセン委員会・ジュニア強化リーグプロジェクト（4回）	¥750,000	
30	新潟県テニス協会	トレセン委員会・夏季育成ジュニア強化プロジェクト（3日） ※中止	¥100,000	¥100,000
31	新潟県テニス協会	トレセン委員会・中学生団体戦派遣強化プロジェクト（1回、3日） ※中止	¥160,000	¥160,000
32	新潟県テニス協会	テニストレセン委員会・小学生団体戦派遣強化プロジェクト（1回） ※中止	¥60,000	¥60,000
33	新潟県テニス協会	テニストレセン委員会・合同トレセンプロジェクト（4回）	¥200,000	
34	新潟県テニス協会	テニストレセン委員会・小中学生冬季強化プロジェクト（2回）	¥400,000	
35	新潟県テニス協会	テニストレセン委員会・東日本合同トレセン強化合宿プロジェクト（1回）	¥160,000	
36	新潟県テニス協会	テニストレセン委員会・戦力アップ冬季強化プロジェクト（10回）	¥460,000	
37	新潟県テニス協会	国体少年の部冬季練習会	¥250,000	
38	新潟県バドミントン協会	令和3年度 新潟県バドミントン協会 国体強化事業	¥400,000	
39	新潟県バドミントン協会	中学生バドミントン強化活動 ※一部中止	¥500,000	¥344,272
40	新潟県バドミントン協会	優秀指導者による小・中・高校生選抜選手への特別強化事業	¥500,000	
41	新潟県バドミントン協会	第60回全日本教職員バドミントン選手権大会	¥750,000	
42	新潟県バドミントン協会	2021年度 少年女子強化事業	¥200,000	
43	新潟県バドミントン協会	2021年度第1回新潟県高等学校バドミントン強化練習会 ※中止	¥150,000	¥150,000
44	新潟県バドミントン協会	選抜選手強化練習会	¥350,000	
45	新潟県バドミントン協会	次年度 中・高校生選抜選手特別強化事業 ※中止	¥300,000	300,000
46	新潟県バドミントン協会	全国中学生バドミントン選手権 県代表選手強化事業	¥1,000,000	
47	新潟県バドミントン協会	中学生バドミントン強化活動	¥500,000	
48	新潟県バドミントン協会	令和3年度 強化指定選手合同強化練習会	¥400,000	
49	新潟市アイスホッケー協会	2021年度 新潟市アイスホッケー協会 ジュニアスクール ※中止	¥100,000	¥100,000
50	新潟市アイスホッケー協会	2021年度 新潟市アイスホッケー協会 小学生強化事業	¥150,000	

	申請団体	申請内容	交付金額	返金金額
51	新潟市アイスホッケー協会	2021年度 新潟市アイスホッケー協会 中学生強化事業	¥200,000	
52	新潟市相撲連盟	新潟市相撲教室	¥100,000	
53	新潟市卓球連盟	新潟市ジュニア選手 強化事業	¥200,000	
54	新潟市卓球連盟	新潟市ジュニア選手 強化事業	¥200,000	
55	新潟市テニス協会	新潟市ジュニア強化練習会	¥150,000	
56	新潟支部バドミントン協会	にいがたスーパージュニア育成事業	¥300,000	
			¥22,500,000	¥4,158,054

2. 表彰に関する事業

2021年度「米山稔賞」の表彰は、選考委員会審査を経て理事長決裁により、次のとおり決定いたしました。

氏名	龍崎 天明 (りゅうざき てんめい)
種目	卓球
所属	新発田ジュニア卓球クラブ
功績	新発田ジュニア卓球クラブ指導者に就任後、卓越した指導力で小学生の全国大会で毎年のように上位入賞者を輩出している。近年では2017年に開催された15歳以下の世界大会である「ワールドカデットチャレンジ」で個人・団体ともに優勝を果たした相馬夢乃選手を育成している。また、2021年開催の全日本選手権大会ホープスの部(小学生6年生以下)及びカデットの部(13歳以下)の両種目で川上流星選手が全国優勝。同年開催の全国ホープス卓球大会(小学生男子団体)においても新発田ジュニア卓球クラブを初の全国優勝に導いた功績は大きい。現在、新発田ジュニア卓球クラブの指導者となり23年目を迎えているが、その指導力は日本卓球界の中でもトップクラスであり、数々の栄冠を手にしてもなお、常に新たな指導法を模索しながら研究を重ねる姿勢は顕著である。